

2020年度 小樽歯科衛生士専門学校  
学校関係者評価

学校の教育目標

<教育理念>人間性豊かな歯科衛生士として、地域の保健医療に貢献できる医療人を育成する  
「愛と知と技を備えた」

項目	評価
建学の趣旨と教育の方針	ホームページなどの媒体を利用するなどして今以上に周知を図っていく努力をすること。
学校運営	教職員の更なる連携が必要と思われる。 感染症などの非常事態時には作成した対策にそった適切な対応が必要。 非常事態下用に作成している方針等を常にブラッシュアップしていくべき。 コンプライアンスに関しては、今後も適切に対応することが求められる。
教育活動	授業担当教員、歯科衛生士教育に適した人材の確保、育成が重要である。 教育内容充実の為、教員相互の情報、意見交換は積極的に行うこと。 導入した遠隔授業などを有効的に活用し学習の継続を図ること。 実習先との連絡を密にするとともに、実習先からの意見も取り入れること。 専任教員の研修会参加を、Web開催のものを検討してはどうか。
学修成果	国家試験は、新卒21名、既卒1名の全員が合格したことは評価できる。 国家試験の難易度が上昇する傾向のため、今後も対策が必要。 進級について、学修習熟度の判断を、今以上に厳正とする必要がある。 卒業生全員就職が決定したが、今後も適切な就職指導を行ってほしい。
学生支援	担任との個人面談等で個人に合わせた指導方法を行ってください。 健康管理についても、学生の動向に注意を払っていくことが大切である。 今後は、学校の感染症予防策に加え、学生への予防指導も徹底してほしい。 保護者との連携のため、2月ごとに出席状況を送付しているのは評価できる。 卒業生のフォローとして同窓会と連携が必要と考えます。
教育環境	補助金等を活用し、遠隔授業用の器材を準備し、学修機会を確保する対策ができるようになったのは、評価します。活用方法等を発展させてください。 教室、共有部分などの適切な感染対策を行ってください。 実習室の修理や整備等の対応を行う必要があると思います。
学生募集	コロナ禍で、学生募集活動が従前どおりにはできない状態でしたが、入学予定者が昨年に続き30名と多くなっていて良い状況です。 オープンキャンパスや、高校訪問、進学相談会など、感染状況を踏まえて計画、実施、参加してください。HPの効果的な活用が、更なる知名度のアップ、入学生の増加につながることを期待しています。
財務	募集定員まであと少しというところまで来ているので、このまま推移して3学年、定員近い人数がそろっていけば、財務的には安定にむかうはずです。 来年度から設備維持費を全学年から徴収していくこともあるので、設備等の修理や更新等の対応を計画的に行う必要があると思います。